



様式A

文 書 番 号  
平 成 年 月 日

## 銀行振込依頼書

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード

大学等名

大学等の長名

公印

平成28年度及び平成27年度継続プログラムにおける海外留学支援制度(協定派遣)による奨学金の支給については、下記の口座に振り込み願います。

### 記

1. 振込口座について (該当項目を選択 (■) してください。)

- ① 変更なし (平成27年度海外留学支援制度 (協定派遣) 振込口座と同じ口座)
- ② 変更あり (平成27年度海外留学支援制度 (協定派遣) 振込口座と異なる口座)
- ③ 新規 (平成27年度海外留学支援制度 (協定派遣) での奨学金支給実績がない)

2. 上記1において、「②変更あり」又は「③新規」を選択した場合は、以下を記入してください。  
(「①変更なし」を選択した場合は、記入不要です。)

フリガナ \_\_\_\_\_ フリガナ \_\_\_\_\_

金融機関名 \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 店  
(金融機関コード: \_\_\_\_\_) 信用金庫 (店舗コード: \_\_\_\_\_)

預金種類 \_\_\_\_\_ 預金

フリガナ \_\_\_\_\_

口座名義 \_\_\_\_\_

口座番号 \_\_\_\_\_

- (注1) 本用紙は在籍大学等で1枚のみ提出してください。プログラムごとに提出する必要はありません。  
・海外留学支援制度(協定受入)の送金も受ける場合は、協定受入用の銀行振込依頼書を別途作成し、提出してください。なお、同一口座である必要はありません。  
・平成28年度における支給申請が、平成27年度に採択され、平成28年度まで継続実施するプログラムのみとなる場合も、本様式(平成28年度様式)を使用してください。  
・平成27年度継続プログラムと平成28年度新規採択プログラムの両方がある場合には、振込先は同一口座となりますので、本用紙は各在籍大学等(代表校を含む)で1枚のみ提出してください。
- (注2) 派遣開始月の最も早いプログラムの平成28年度初回支給申請時に、支給申請書(様式B)と共に提出してください。  
・支給申請の度に提出する必要はありません。  
・本用紙を提出後に、記入内容に変更が生じる場合は、直近の支給申請時に提出してください。
- (注3) 機構の他の事業に係る入金や他機関からの入金との混同が予測される場合は、専用口座の設置をお願いします。
- (注4) 口座名義は大学等名を含めた名称にしてください。



様式A

文書番号  
平成 年 月 日

## 銀行振込依頼書

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード 123456

大学等名 支援大学

大学等の長名 青海 一郎

JASSO

平成28年度及び平成27年度継続プログラムにおける海外留学支援制度(協定派遣)による奨学金の支給については、下記の口座に振り込み願います。

## 記

1. 振込口座について (該当項目を選択(■)してください。)

- ① 変更なし(平成27年度海外留学支援制度(協定派遣)振込口座と同じ口座)
- ② 変更あり(平成27年度海外留学支援制度(協定派遣)振込口座と異なる口座)
- ③ 新規(平成27年度海外留学支援制度(協定派遣)での奨学金支給実績がない)

2. 上記1において、「②変更あり」を選択した場合は、以下を記入してください。  
(「①変更なし」を選択した場合は、以下を記入してください。)

フリガナ ニホンガクセイシエンダイガク フリガナ アオミ シ

金融機関名 日本学生支援大学 銀行 青海 支 店  
(金融機関コード: 0000) 信用金庫 (店舗コード: 000)

預金種類 普通 預金

フリガナ ニホンガクセイシエンダイガクガクチヨウアオミイチロウ

口座名義 日本学生支援大学 学長 青海一郎

口座番号 0000000

- (注1) 本用紙は在籍大学等で1枚のみ提出してください。プログラムごとに提出する必要はありません。  
・海外留学支援制度(協定受入)の送金も受ける場合は、協定受入用の銀行振込依頼書を別途作成し、提出してください。なお、同一口座である必要はありません。  
・平成28年度における支給申請が、平成27年度に採択され、平成28年度まで継続実施するプログラムのみとなる場合も、本様式(平成28年度様式)を使用してください。  
・平成27年度継続プログラムと平成28年度新規採択プログラムの両方がある場合には、振込先は同一口座となりますので、本用紙は各在籍大学等(代表校を含む)で1枚のみ提出してください。
- (注2) 派遣開始月の最も早いプログラムの平成28年度初回支給申請時に、支給申請書(様式B)と共に提出してください。  
・支給申請の度に提出する必要はありません。  
・本用紙を提出後に、記入内容に変更が生じる場合は、直近の支給申請時に提出してください。
- (注3) 機構の他の事業に係る入金や他機関からの入金との混同が予測される場合は、専用口座の設置をお願いします。
- (注4) 口座名義は大学等名を含めた名称にしてください。



様式B

文 書 番 号  
平成 年 月 日

## 平成28年度海外留学支援制度（協定派遣）奨学金支給申請書（ 月締切分）

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード

大学等名

大学等の長名

公印

標記について、下記のとおり、奨学金の支給を申請します。

記

1. 支給申請総額： \_\_\_\_\_ 円（ \_\_\_\_\_ 名分）

機構 記入欄		
-----------	--	--

2. 申請プログラム内訳：

No.	プログラム番号	プログラム名	支給対象者数 <sup>(注4)</sup> (名)	支給申請額 (円)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

(注1) 本様式は、平成28年度採択プログラム用です。

・複数のプログラムを支給申請する場合は、プログラム形態（型）に関わらず学校単位でとりまとめて作成し、提出してください。

・平成27年度採択プログラムの支給申請は、平成27年度の様式を使用してください。

(注2) 2. の表は、双方向協定型（プログラム番号順）⇒短期研修・研究型（プログラム番号順）の順に、記入してください。

(注3) 支給申請するプログラム数が10を超える場合は、2. の表に行を追加してください。

(注4) 2. の「支給対象者数」は、該当する支給申請月に支給申請の対象となる人数を記入してください。

(注5) 2. の各プログラムの「支給申請額」は、別途提出する「登録データ」の当該月「JASSO請求額の合計」と同じ金額であることを必ず確認してください。

(注6) 奨学金は、支給対象月ごとに、「在籍確認及び受領確認簿」（様式C）を用いて支給対象者の在籍を確認した上で、支給してください。

(注7) 各月における支給申請書及び登録データの提出締切日は、「事務手続きの手引き」を確認してください。

平成28年度海外留学支援制度（協定派遣）奨学金支給申請書（ 5 月締切分）

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

「事務手続きの手引き」の支給申請スケジュールにより、何月提出締切分の申請を行うか確認のうえ、記入してください。

学校コード

大学等名

大学等の長名

JASSO

標記について、下記のとおり、奨学金の支給を申請します。

支給申請書は、学校単位でとりまとめてください。

記

1. 支給申請総額： 6,000,000 円（ 18 名分）

機構 記入欄		
-----------	--	--

2. 申請プログラム内訳：

No.	プログラム番号	プログラム名	支給対象者数 (注4) (名)	支給申請額 (円)
1	WSK1612345601	〇〇××プログラム	10	3,200,000
2	WSK1612345602	〇〇プログラム	5	1,600,000
3	HTK1612345601	××プログラム	3	1,200,000
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

・必要に応じて行の高さを調節してください。また、印刷後、プログラム名が全て表示されていることを確認してください。

・プログラム名は、採択時のプログラム名と一致していることを確認してください。

(注1) 本様式は、平成28年度採択プログラム用です。

・複数のプログラムを支給申請する場合は、プログラム形態（型）に関わらず学校単位でとりまとめて作成し、提出してください。

・平成27年度採択プログラムの支給申請は、平成27年度の様式を使用してください。

(注2) 2. の表は、双方向協定型（プログラム番号順）⇒短期研修・研究型（プログラム番号順）の順に、記入してください。

(注3) 支給申請するプログラム数が10を超える場合は、2. の表に行を追加してください。

(注4) 2. の「支給対象者数」は、該当する支給申請月に支給申請の対象となる人数を記入してください。

(注5) 2. の各プログラムの「支給申請額」は、別途提出する「登録データ」の当該月「JASSO請求額の合計」と同じ金額であることを必ず確認してください。

(注6) 奨学金は、支給対象月ごとに、「在籍確認及び受領確認簿」（様式C）を用いて支給対象者の在籍を確認した上で、支給してください。

(注7) 各月における支給申請書及び登録データの提出締切日は、「事務手続きの手引き」を確認してください。

【重要】支給対象月の期間内に在籍確認が完了した対象者に、奨学金を支給してください。

学校コード		大学等名	
プログラム番号		プログラム名	

平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)の当プログラムにおける派遣学生に対し、「事務手続きの手引き」に記載されている確認方法に則り、下表のとおり在籍確認を行っております。また、在籍確認を行った後は速やかに奨学金を支給し、「事務手続きの手引き」に記載されている確認方法に則り、下表のとおり受領確認を行っております。

登録者番号	支給対象者氏名	在籍確認使用欄				受領確認使用欄			備考	
		支給対象者本人		派遣先大学等担当		支給月日	受領確認方法(選択)			
		在籍確認月日	在籍確認方法【文書確認】	在籍確認月日	在籍確認方法【文書確認】		振込受付書等	受領書		支給金額(円)
WSK1612345601001	機構 太郎	4月10日	メール	4月10日	メール	4月28日	✓		100,000	
1		月 日		月 日						
2		月 日		月 日						
3		月 日		月 日						
4		月 日		月 日						
5		月 日		月 日						
6		月 日		月 日						
7		月 日		月 日						
8		月 日		月 日						
9		月 日		月 日						
10		月 日		月 日						
11		月 日		月 日						
12		月 日		月 日						
13		月 日		月 日						
14		月 日		月 日						
15		月 日		月 日						

- ① 在籍確認及び受領確認は、「事務手続きの手引」に記載されている確認方法により、本様式を使用して行ってください。本様式に、当該プログラムにおける当該月の支給対象者を全て記入し、確認してください。
- ② 本様式及び確認に使用した根拠書類は、日本学生支援機構の求めがあった場合、速やかに提出できるように保管してください。保管期間は支給を行った月の翌年度の4月1日から5年間です。
  - ・「在籍確認」は、メールや在籍確認書(見本書式1)等の文書で行い、これらの根拠書類は本様式と共に保管してください。
  - ・「在籍確認の根拠書類」には、確認年月日、支給対象者氏名、場所(プログラム)に参加していることが明記されていることを確認してください。口頭や目視での確認、入学許可証による確認は認められません。
  - ・「在籍確認年月日」欄は、根拠書類に記載されている確認年月日と同一としてください。
  - ・「在籍確認」は支給対象者本人と派遣先大学等担当双方において確認し、双方の根拠書類を保管してください。プログラム引率者が派遣先大学等担当として確認することも可能ですが、根拠書類に引率者である旨を記載してください。
- ③ 奨学金は、支給年月日、振込先口座及び口座名義を確認できる書類(金融機関の振込受付書等)または受領書(見本書式2等)等の文書で行い、これらの根拠書類は本様式と共に保管してください。
  - ・「支給月日」欄は、支給対象者に実際に支給した月日と金額を記載してください。支給月日は必ず在籍確認月日以降となります。
- ④ 奨学金は、在籍確認を行った後に、派遣学生に支給してください。在籍確認前の支給、複数月分のまとめ払い、分割払い、立替払い、後払い及び授業料等の参加費を差引いた金額での支給は認められません。

【重要】支給対象月の期間内に在籍確認が完了した対象者に、奨学金を支給してください。

学校コード	123456	支援大学
プログラム番号	WSK1612345601	〇〇××プログラム

上記に支給対象月を入力すると、下表にの在籍確認月が自動表示されます。

平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)の当プログラムにおける派遣学生に対し、「事務手続きの手引き」に記載されている確認方法に則り、下表のとおり在籍確認を行っております。また、在籍確認を行った後は速やかに奨学金を支給し、「事務手続きの手引き」に記載されている確認方法に則り、下表のとおり受領確認を行っております。

登録者番号	支給対象者氏名	在籍確認使用欄				受領確認使用欄			備考	
		支給対象者本人		派遣先大学等担当		支給月日	受領確認方法(選択)			
		在籍確認月日	在籍確認方法【文書確認】	在籍確認月日	在籍確認方法【文書確認】		振込受付書等	受領書		支給金額(円)
WSK1612345601001	機構 太郎	7月10日	メール	7月10日	メール	7月28日	✓		100,000	
WSK1612345601001	機構 太郎	7月5日	メール	7月6日	メール	7月25日	✓		100,000	
WSK1612345601002	支援 次郎	7月20日	メール	7月22日	メール	8月6日	✓		70,000	在籍確認は支給対象月に行ったが、振込手続の関係上、入金は8月となった。
WSK1612345601003	奨学 さくら	7月8日	在籍確認書	7月8日	在籍確認書	7月8日		✓	80,000	振込み手続きの関係等により、支給月が在籍確認月と異なる場合は、備考に記載してください。
WSK1612345601004	派遣 三郎	7月8日	在籍確認書	7月8日	在籍確認書	7月8日		✓	80,000	
		7月 日		7月 日						
		7月 日		7月 日						
		7月 日		7月 日						
		7月 日		7月 日						
		7月 日		7月 日						
		7月 日		7月 日						
		7月 日		7月 日						
		7月 日		7月 日						

**【在籍確認】**

- ・在籍確認書は、「見本書式1: 在籍確認書」をご利用ください。学校において同様の書類を作成いただくこともできます。
- ・在籍確認は支給対象者本人と派遣先大学等担当双方において、確認してください。
- ・メールにより在籍確認を行う場合は、支給対象者本人と派遣先大学等担当の双方から受信してください。支給対象者本人の確認について、1名が他の支給対象者分もまとめて在籍確認のメールを送信することはできません。

**【受領確認】**

- ・支給は必ず在籍確認後に行ってください。
- ・金融機関による振込みの場合は「振込書類受付書等」をチェックし、その関係書類を保管してください。
- ・本人に手渡す場合は、「見本書式2: 受領書」をご利用ください。学校において同様の書類を作成いただくこともできます。「受領書」にチェックし、受領書等を保管してください。

① 在籍確認及び受領確認は、「事務手続きの手引」に記載されている確認方法により、本様式を使用して行ってください。本様式に、当該プログラムにおける当該月の支給対象者を全て記入し、確認してください。  
 ② 本様式及び確認に使用した根拠書類は、日本学生支援機構の求めがあった場合、速やかに提出できるよう保管してください。保管期間は支給を行った月の翌年度の4月1日から5年間です。  
 ・「在籍確認」は、メールや在籍確認書(見本書式1)等の文書で行い、これらの根拠書類は本様式と共に保管してください。  
 ・「在籍確認の根拠書類」には、確認年月日、支給対象者氏名、場所(プログラムに参加していること)が明記されていることを確認してください。口頭や目視での確認、入学許可証による確認は認められません。  
 ・「在籍確認年月日」欄は、根拠書類に記載されている確認年月日と同一としてください。  
 ・「在籍確認」は支給対象者本人と派遣先大学等担当双方において確認し、双方の根拠書類を保管してください。プログラム引率者が派遣先大学等担当として確認することも可能ですが、根拠書類に引率者である旨を記載してください。  
 ・「受領確認」は、支給年月日、振込先口座及び口座名義を確認できる書類(金融機関の振込受付書等)または受領書(見本書式2等)等の文書で行い、これらの根拠書類は本様式と共に保管してください。  
 ・「支給月日」欄は、支給対象者に実際に支給した月日と金額を記載してください。支給月日は必ず在籍確認月以降となります。  
 ③ 奨学金は、在籍確認を行った後に、派遣学生に支給してください。在籍確認前の支給、複数月分のまとめ払い、分割払い、立替払い、後払い及び授業料等の参加費を差引いた金額での支給は認められません。

# 見本書式1

独立行政法人日本学生支援機構 海外留学支援制度  
Japan Student Services Organization  
Student Exchange Support Program (Scholarship for Short-term study abroad)

## 在籍確認書

Confirmation of Enrollment/Attendance

【海外留学支援制度(協定派遣)奨学金支給月額            円】  
Monthly stipend (JPY):

支給対象者記入欄  
To be filled in by scholarship recipient

・ 留学先大学等名称 : \_\_\_\_\_  
Name of the host institution

・ 現在所在地 : \_\_\_\_\_  
Present Address

上記学校で行われる留学プログラムに、現在、参加しています。  
I affirm that I am currently attending a study program at the institution  
stated above.

・ 氏名 : \_\_\_\_\_  
Name

・ 日付 : 西暦 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
Date Year Month Day

指導教員等在籍確認欄  
To be filled in by the instructor

上記学生の在学を確認した。  
I confirmed attendance of the student mentioned above.

・ 大学等名称 : \_\_\_\_\_  
Name of instructor's institution

・ 指導教員等氏名 : \_\_\_\_\_  
Name of the instructor

・ 日付 : 西暦 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
Date Year Month Day

※ この確認書は全て自筆で、日本語または英語により記入してください。

All the spaces should be handwritten in Japanese or in English.

※ 支給対象者と指導教員は同じ月に記入してください。

The instructor and the scholarship student should fill in this document in the same month.

■ 在籍大学等注意事項 Japanese universities use only

① 日本からの引率教員等が署名を行う場合は、引率者である旨を確認欄の余白に記入してください。

② 「在籍確認及び受領確認簿」(様式C)の「在籍確認使用欄」について、支給対象者本人の在籍確認月日は本様式支給対象者本人欄にある日付を、派遣先大学等担当の在籍確認月日は本様式指導教員等在籍確認欄の日付を記入してください。

# 見本書式2

受 領 書

平成 年 月 日

独立行政法人 日本学生支援機構 様

金額

	円
--	---

但 海外留学支援制度(協定派遣)奨学金 月分について  
上記正に受領いたしました

登録者番号  
(学校記載)

---

氏名  
(自筆)

--



## 平成28年度海外留学支援制度（協定派遣）返納報告書

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード

大学等名

大学等の長名

公印

標記について、下記のとおり、奨学金の返納金が生じたので報告いたします。

## 記

1. プログラム番号：

2. プログラム名：

3. 機構への奨学金返納金総額： \_\_\_\_\_ 円

4. 支給対象者の登録の変更・取消し等に伴う返納：

No.	登録者番号	変更等の内容及び理由（注2）	返納額（円）
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
			計

5. 「登録データ」メール送信：  済（注3）

備考：

（注1）上記1～5を全て記載のうえ、機構へ提出（原本郵送）してください。

（注2）「変更等の内容及び理由」は、登録取消し、期間変更、一時不在等の内容及び理由を記入してください。

（注3）上記4対象者の「登録データ」を変更（『平成28年度海外留学支援制度（協定派遣）事務手続きの手引き』12ページ参照）し、メールで提出してください。（□済にチェック）

（注4）返納に該当する支給対象者が多数いる場合は、表の行を追加して作成し記入してください。

## 平成28年度海外留学支援制度（協定派遣）返納報告書

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード 123456

大学等名 支援大学

大学等の長名 青海一郎

JASSO

標記について、下記のとおり、奨学金の返納金が生じたので報告いたします。

## 記

1. プログラム番号： WSK1612345601
2. プログラム名： 〇〇××プログラム
3. 機構への奨学金返納金総額： 490,000 円
4. 支給対象者の登録の変更・取消し等に伴う返納：

・登録者番号を付与された支給対象者の登録の取消し・変更等による返納は、必ずこの欄に記入してください。併せて、登録変更の手続き（変更後の登録データの提出）も行ってください。

・返納の手続きについては「平成28年度海外留学支援制度（協定派遣）事務手続きの手引き」の23ページ、26ページ等を参照してください。

No.	登録者番号	変更等の内容及び理由（注2）	返納額（円）
1	WSK1612345601001	体調不良により留学を断念したため、登録を取消した。	320,000
2	WSK1612345601006	試験参加のため、留学期間を短縮した。	70,000
3	WSK1612345601008	派遣先大学の事情により、留学期間が短縮された。	100,000
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
計			490,000

5. 「登録データ」メール送信：  済（注3）

備考：

- （注1）上記1～5を全て記載のうえ、機構へ提出（原本郵送）してください。
- （注2）「変更等の内容及び理由」は、登録取消し、期間変更、一時不在等の内容及び理由を記入してください。
- （注3）上記4対象者の「登録データ」を変更（『平成28年度海外留学支援制度（協定派遣）事務手続きの手引き』12ページ参照）し、メールで提出してください。（□済にチェック）
- （注4）返納に該当する支給対象者が多数いる場合は、表の行を追加して作成し記入してください。

## 平成28年度海外留学支援制度（協定派遣）採択辞退届

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード

大学等名

大学等の長名

公印

標記について、下記のとおり届け出ます。

## 記

1. プログラム番号：

2. プログラム名：

3. プログラムの実施予定期間：

平成 年 月 ～ 平成 年 月

4. 採択辞退の理由

(選択項目)

 (▼より、理由を選択してください。)

(理由詳細) 【記入必須】

(注) 双方向協定型（協定派遣）のプログラムについて採択辞退届を提出する場合は、あわせて同双方向協定型（協定受入）のプログラムについても採択辞退届を提出してください。

## 平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)採択プログラム変更届

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード

大学等名

大学等の長名

公印

標記について、下記のとおり届け出ます。本届出により、採択プログラムの計画内容(特に計画書(様式2)「1. プログラムの目的・達成目標」及び「2. プログラムの内容」)に変更は生じません。また、本届出のプログラムは、「平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)募集要項」にある支援の対象となる派遣プログラムの要件を満たします。

プログラム形態		プログラム番号	
プログラム名			

## (1) 支給割当人数変更

地域区分	(変更前)					⇒	(変更後) ※変更箇所は赤字で入力				
	指定	甲	乙	丙	合計		指定	甲	乙	丙	合計
支給割当人数	人	人	人	人	人	⇒	人	人	人	人	人

## (2) 支給割当人数(配分額)変更

地域区分	(変更前)					⇒	(変更後) ※変更箇所は赤字で入力				
	指定	甲	乙	丙	合計		指定	甲	乙	丙	合計
支給割当人数(H28年度) H28年4月～ H29年3月分	人月	人月	人月	人月	人月	⇒	人月	人月	人月	人月	人月
支給割当人数(H29年度) H29年4月～ H30年2月分	人月	人月	人月	人月	人月	⇒	人月	人月	人月	人月	人月
配分額	円					⇒	円				

## (3) 上記(1)(2)の変更が生じた理由

## (4) その他の変更(単位付与等の方法にかかる変更等)

## ① 変更内容

## ② 変更理由(採択プログラムの目的・目標に変更がなく、変更後においても同じ内容が実施できることを説明してください。)

- ・プログラム実施期間の変更については、本様式を提出する必要はありません。
- ・双方向協定型について、新たに派遣先大学等を追加する場合は、様式F-2により届け出てください。

## 平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)採択プログラム変更届

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード 123456

大学等名 支援大学

大学等の長名 青海一郎

JASSO

・変更となる項目について、(変更前)欄及び(変更後)欄の両方に記入してください。

・2回目以降の変更の場合、(変更前)欄には直近の変更承認済み内容を記載してください。

・合計欄、配分額欄は自動計算です。

標記について、下記及び「2. プログラムの内援の対象となる派遣プ

プログラムの計画内容(特に計画書(様式2))「1. プログラムの目的・達成目標」及のプログラムは、「平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)募集要項」にある支

プログラム形態	双方向協定型	プログラム番号	WSK1612345602
プログラム名	〇〇××プログラム		

## (1) 支給割当人数変更

地域区分	(変更前)				
	指定	甲	乙	丙	合計
支給割当人数	人	11 人	人	人	11 人

(変更後)欄の合計人数が、(変更前)欄の合計割当人数より、増となる変更届出はできません。

地域区分	(変更後) ※変更箇所は赤字で入力				
	指定	甲	乙	丙	合計
支給割当人数	人	9 人	人	人	9 人

## (2) 支給割当人数(配分額)変更

地域区分	(変更前)				
	指定	甲	乙	丙	合計
支給割当人数(H28年度) H28年4月～ H29年3月分	人月	22 人月	人月	人月	22 人月
支給割当人数(H29年度) H29年4月～ H30年2月分	人月	44 人月	人月	人月	44 人月
配分額	5,280,000 円				

地域区分	(変更後) ※変更箇所は赤字で入力				
	指定	甲	乙	丙	合計
支給割当人数(H28年度) H28年4月～ H29年3月分	人月	18 人月	人月	人月	18 人月
支給割当人数(H29年度) H29年4月～ H30年2月分	人月	36 人月	人月	人月	36 人月
配分額	4,320,000 円				

## (3) 上記(1)(2)の変更が生じた理由

これまでの実績に基づき計画を作成し、今年度は複数回に渡り募集を行ったが、予想を下回った。プログラム全体の参加学生は15名となったが、奨学金支給対象者の資格要件を満たす派遣学生は9名となったため。

(変更後)欄の配分額が、(変更前)欄の合計配分額より、増となる変更届出はできません。

## (4) その他の変更(単位付与等の方法にかかる変更等)

## ① 変更内容

② 変更理由(採択プログラムの目的・目標に変更がなく、変更後においても同じ内容が実施できることを説明してください。)

平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)採択プログラム変更届  
 双方向協定型プログラムにおけるプログラム参加大学等の追加申請

提出日:平成 年 月 日

学校コード	大学等名	プログラム形態	プログラム番号	プログラム名
		双方向協定型		

<派遣>

No.	地域区分				派遣先・連携先機関			協定内容							単位 互換 ・ 単位 認定	派遣日数	協定受入 にて協定 書(写)を 提出済み の場合は ○を記入
	国・地域 コード	国名	派遣地 域 区分	都市名	派遣先大学等(高等教育機関等)		派遣先大学等 (高等教育機関) 以外の連携機関	協定 文書	協定 写し 番号	締結 (更新)日	有効 期限日	交換 人数 (派遣)	授業料 不徴収 ・ 授業料 免除	宿舍 手配			
					英語名称	日本語名称											

- (注1) 双方向協定型プログラムの場合、新たにプログラム参加大学等を追加する場合には、本様式に当該追加大学等との協定書の写しを添付して提出してください。  
 ・本様式により届出をするプログラムについて、プログラム申請時に別表に記載したプログラム参加大学等は記入不要です。ただし、別キャンパスが異なる地域区分にある場合は、派遣先大学等の名称にキャンパス名を含めて記載し、提出してください。  
 ・計画していたプログラム参加大学等但实际上には派遣されなかった場合について、変更等を機構に届け出る必要はありません。
- (注2) 協定書の写しは、①授業料不徴収・免除の記載部分と②協定校名に、ラインマーカーで印をつけてください。  
 なお、協定書に授業料不徴収・授業料免除の記載がない場合には、その記載のある学則又は覚書等も添付してください。
- (注3) 平成28年度採択の双方向協定型(協定受入)プログラムにおいて、本様式により追加するプログラム参加大学等との協定書の写しを既に機構に提出済みの場合は、該当欄に「○」を記入の上、様式F-2のみをメールにて提出してください。
- (注4) 学生ごとで留学期間が異なる場合、派遣日数は、最も長い日数を記入してください。

平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)採択プログラム変更届  
 双方向協定型プログラムにおけるプログラム参加大学等の追加申請

提出日:平成 28 年 5 月 1

学校コード	大学等名	プログラム形態	プログラム番号	プログラム名
123456	支援大学	双方向協定型	WSK1612345601	〇〇××プログラム

<派遣>

No.	地域区分				派遣先・連携先機関			協定内容							単位 互換 ・ 単位 認定	派遣日数	協定受入 にて協定 書(写し) を提出済 みの場合 は○を記 入	
	国・地域 コード	国名	派遣地 域 区分	都市名	派遣先大学等(高等教育機関等)		派遣先大学等 (高等教育機関) 以外の連携機関	協定 文書	協定 写し 番号	締結 (更新)日	有効 期限日	交換 人数 (派遣)	授業料 不徴収 ・ 授業料 免除	宿舍 手配				
					英語名称	日本語名称												英語名称
1	601	オーストラリア	乙	シドニー	U OF 〇〇	〇〇大学		協定	3	2010/3/1	無期限	制限なし	有	有	追加予定	365		

- (注1) 双方向協定型プログラムの場合、新たにプログラム参加大学等を追加する場合には、本様式に当該追加大学等との協定書の写しを添付して提出してください。  
 ・本様式により届出をするプログラムについて、プログラム申請時に別表に記載したプログラム参加大学等は記入不要です。ただし、別キャンパスが異なる地域区分にある場合は、派遣先大学等の名称にキャンパス名を含めて記載し、提出してください。  
 ・計画していたプログラム参加大学等に実際には派遣されなかった場合について、変更等を機構に届け出る必要はありません。
- (注2) 協定書の写しは、①授業料不徴収・免除の記載部分と②協定校名に、ラインマーカーで印をつけてください。  
 なお、協定書に授業料不徴収・授業料免除の記載がない場合には、その記載のある学則又は覚書等も添付してください。
- (注3) 平成28年度採択の双方向協定型(協定受入)プログラムにおいて、本様式により追加するプログラム参加大学等との協定書の写しを既に機構に提出済みの場合は、該当欄に「○」を記入の上、様式F-2のみをメールにて提出してください。
- (注4) 学生ごとで留学期間が異なる場合、派遣日数は、最も長い日数を記入してください。

平成28年度海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)計画書

プログラム形態	No.
双方向協定型	

  

学校コード		大学等所在地	
国内大学等名		国公立設置形態	
コンソーシアム 国内参加校名 (該当の場合のみ記入)	※コンソーシアム単位での申請の場合:「国内大学等名」欄に実施代表校名を「●●校(代表校)」と記入、「コンソーシアム国内参加校名」欄に代表校以外の参加校名を記入(複数ある場合は半角カンマ区切り)		

○プログラムの概要

プログラム名	
(1)プログラムの概要(要約) ※2頁～10頁までの内容を簡潔に10行程度で記載してください。なお、この欄は審査の対象とはなりません。 また、プログラムが採択された場合、こちらの内容を機構のホームページ等で公開する場合があります。	

(2)プログラムの実施計画全般

プログラム期間(奨学金支給対象者のプログラム参加期間)										
派遣	平成		年		月	～平成		年		月
受入	平成		年		月	～平成		年		月

派遣(受入に関する部分は次頁の入力欄に別途入力してください。)

地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計
プログラム参加大学等数	校	校	校	校	計 0 校
総派遣計画人数	名	名	名	名	計 0 名

派遣先国 *複数ある場合は半角カンマで区切ってください。	
---------------------------------	--

地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計
支援希望人数	名	名	名	名	計 0 名
人月数(H28年度) A H28年4月～H29年3月分					0
人月数(H29年度) B H29年4月～H30年2月分					0
人月数(合計)A+B	0 人月	0 人月	0 人月	0 人月	計 0 人月

\*人月数は、全支援希望学生の留学総月数を、年度ごとに記入してください。

平成28年度海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)実施報告書

プログラム形態	No.
双方向協定型	

  

学校コード	(自動入力)	大学等所在地	(自動入力)
国内大学等名	(自動入力)	国公立設置形態	(自動入力)
コンソーシアム 国内参加校名 (該当の場合のみ記入)	(自動入力)	※コンソーシアム単位での申請の場合:「国内大学等名」欄に実施代表校名を「●●校(代表校)」と記入、「コンソーシアム国内参加校名」欄に代表校以外の参加校名を記入(複数ある場合は半角カンマ区切り)	

○プログラムの概要

プログラム名	(自動入力)	プログラム番号	
(1)プログラムの概要(要約) ※2頁～10頁までの内容を簡潔に10行程度で記載してください。なお、この欄は審査の対象とはなりません。 また、プログラムが採択された場合、こちらの内容を機構のホームページ等で公開する場合があります。			
(自動入力)			

(2)プログラムの実施実績

プログラム期間(奨学金支給対象者のプログラム参加期間)										
派遣	平成		年		月	～平成		年		月
受入	平成		年		月	～平成		年		月

派遣(受入に関する部分は次頁の入力欄に別途入力してください。)

地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計
プログラム参加大学等数	校	校	校	校	計 0 校
総派遣計画人数	名	名	名	名	計 0 名

派遣先国 *複数ある場合は半角カンマで区切ってください。	
---------------------------------	--

地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計
支援実績人数	名	名	名	名	計 0 名
人月数(H28年度) A H28年4月～H29年3月分					0
人月数(H29年度) B H29年4月～H30年2月分					0
人月数(合計)A+B	0 人月	0 人月	0 人月	0 人月	計 0 人月

\*人月数は、全支援実績人数の支給実績総月数を、年度ごとに記入してください。

自己評価

自己評価

自己評価



学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

### 受入

地域区分(参考)	指定都市	甲	乙	丙	計
プログラム参加大学等数	校	校	校	校	計 0 校
総受入計画人数	名	名	名	名	計 0 名

留学生出身国  
\*複数ある場合は半角カンマで区切ってください。

地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計
支援希望人数	名	名	名	名	計 0 名
人月数(H28年度) A H28年4月～H29年3月分					0
人月数(H29年度) B H29年4月～H30年2月分					0
人月数(合計)A+B	0 人月	0 人月	0 人月	0 人月	計 0 人月

(3)プログラムの参加対象

#### 派遣

学科・学部・研究科の別	対象となる学科・学部・研究科	学年
学科		第 年次
学部		
研究科		
		M
		D

#### 受入

学科・学部・研究科の別	対象となる学科・学部・研究科	学年
学科		第 年次
学部		
研究科		
		M
		D

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

### 受入

地域区分(参考)	指定都市	甲	乙	丙	計
プログラム参加大学等数	校	校	校	校	計 0 校
総受入計画人数	名	名	名	名	計 0 名

留学生出身国  
\*複数ある場合は半角カンマで区切ってください。

地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計
支援実績人数	名	名	名	名	計 0 名
人月数(H28年度) A H28年4月～H29年3月分					0
人月数(H29年度) B H29年4月～H30年2月分					0
人月数(合計)A+B	0 人月	0 人月	0 人月	0 人月	計 0 人月

(3)プログラムの参加学生

#### 派遣

学科・学部・研究科の別	参加学生の所属学科・学部・研究科	学年
学科		第 年次
学部		
研究科		
		M
		D

#### 受入

学科・学部・研究科の別	参加学生の所属学科・学部・研究科	学年
学科		第 年次
学部		
研究科		
		M
		D

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

1. プログラムの目的・達成目標

①プログラムの目的	
②養成しようとするグローバル人材像・質の高い留学生像	
③プログラムの達成目標(制度の趣旨・目的の観点から)	
④必要となる語学力水準の設定(派遣部分について)	
⑤プログラム参加学生(プログラムに参加する全学生)の達成目標(派遣部分について)	
⑥プログラムの達成目標(受入大学等の国際化推進の観点から)(受入部分について)	

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

1. プログラムの目的・達成目標及び自己評価

①プログラムの目的・成果	自己評価
②養成しようとするグローバル人材像・質の高い留学生像	自己評価
③プログラムの達成目標(制度の趣旨・目的の観点から)・成果	自己評価
④必要となる語学力水準の設定(派遣部分について)	自己評価
⑤プログラム参加学生(プログラムに参加する全学生)の達成目標(派遣部分について)・成果	自己評価
⑥プログラムの達成目標(受入大学等の国際化推進の観点から)(受入部分について)・成果	自己評価

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

## 2. プログラムの内容

(1)プログラムの計画
①参加学生(プログラムに参加する全学生)の進路選択・検討(長期間の留学含む)に対する触発・動機付けする内容
②参加学生(プログラムに参加する全学生)の語学力の向上に向けた内容(派遣部分について)
③派遣先大学等における現地学生との交流計画(派遣部分について)
④受入大学等における日本人学生との交流計画(受入部分について)
⑤参加学生(プログラムに参加する全学生)の専攻に応じたプログラムの内容

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

## 2. プログラムの内容及び自己評価

(1)プログラムの計画	
①参加学生(プログラムに参加する全学生)の進路選択・検討(長期間の留学含む)に対する触発・動機付けする内容	自己評価
②参加学生(プログラムに参加する全学生)の語学力の向上に向けた内容(派遣部分について)	自己評価
③派遣先大学等における現地学生との交流計画(派遣部分について)	自己評価
④受入大学等における日本人学生との交流計画(受入部分について)	自己評価
⑤参加学生(プログラムに参加する全学生)の専攻に応じたプログラムの内容	自己評価

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

⑥プログラムの全参加人数及び奨学金支給割当希望人数の計画の考え方			

⑦学生派遣・学生受入の双方向交流計画			

(2) 単位付与			
① 単位付与・単位認定・単位互換の方法 (単位による修学成果測定が行われない場合、これに代わる修学成果測定の方法)			

--	--	--	--

派遣			
付与単位数 (日本側で付与するもの)		認定単位数 (派遣先大学等が発行する修了書等に基づき日本側で認定するもの)	互換単位数 (大学間交流協定等に基づき派遣先大学等で取得した単位を日本側で認定するもの)

受入			
付与単位数 (在籍大学等で付与するもの)		認定単位数 (受入大学等が発行する修了書等に基づき在籍大学等で認定するもの)	互換単位数 (大学間交流協定等に基づき受入大学等で取得した単位を在籍大学等で認定するもの)

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

⑥プログラムの全参加人数及び奨学金支援実績人数について				自己評価

⑦学生派遣・学生受入の双方向交流実績				自己評価

(2) 単位付与				自己評価
① 単位付与・単位認定・単位互換の方法 (単位による修学成果測定が行われない場合、これに代わる修学成果測定の方法)				自己評価

--	--	--	--	--

派遣				自己評価
付与単位数 (日本側で付与するもの)		認定単位数 (派遣先大学等が発行する修了書等に基づき日本側で認定するもの)	互換単位数 (大学間交流協定等に基づき派遣先大学等で取得した単位を日本側で認定するもの)	

受入				自己評価
付与単位数 (在籍大学等で付与するもの)		認定単位数 (受入大学等が発行する修了書等に基づき在籍大学等で認定するもの)	互換単位数 (大学間交流協定等に基づき受入大学等で取得した単位を在籍大学等で認定するもの)	

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

### 3. 実施体制

#### (1) 管理体制

プログラムの 責任者・代表者	所属課		氏名	
-------------------	-----	--	----	--

#### ① 危機管理体制

--

#### ② プログラム実施に携わる教職員の国際経験(語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等)

--

#### (2) 学生交流協定の内容

##### ① 学生派遣・受入に係る条項の概要(授業料不徴収・免除、宿舍手配等の修学・生活支援含む)

--

##### ② 単位付与に係る条項(条件)の概要

成績証明書		修了証		参加学生(プログラムに参加する 全学生)への事前周知	
-------	--	-----	--	-------------------------------	--

--

##### ③ 学生交流協定等の合意内容・連携の有無

--

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

### 3. 実施体制及び自己評価

#### (1) 管理体制

プログラムの 責任者・代表者	所属課		氏名	
-------------------	-----	--	----	--

#### ① 危機管理体制

	自己評価
--	------

#### ② プログラム実施に携わる教職員の国際経験(語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等)

	自己評価
--	------

#### (2) 学生交流協定の内容

##### ① 学生派遣・受入に係る条項の概要(授業料不徴収・免除、宿舍手配等の修学・生活支援含む)

	自己評価
--	------

##### ② 単位付与に係る条項(条件)の概要

成績証明書		修了証		参加学生(プログラムに参加する 全学生)への事前周知	
-------	--	-----	--	-------------------------------	--

	自己評価
--	------

##### ③ 学生交流協定等の合意内容・連携の有無

	自己評価
--	------

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

**(3) 参加学生の募集・選抜方法(派遣部分について)**

①参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法

--

②派遣学生(支援希望学生)の選考基準(成績評価係数2.3以上(3.0満点)は資格及び要件として必須です。)

--

**(4) 参加学生の募集・選抜方法(受入部分について)**

①参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法

--

②受入学生(支援希望学生)の選考基準(成績評価係数2.3以上(3.0満点)は資格及び要件として必須です。)

--

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

**(3) 参加学生の募集・選抜方法(派遣部分について)**

①参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法

	自己評価
--	------

②派遣学生(支援希望学生)の選考基準(成績評価係数2.3以上(3.0満点)は資格及び要件として必須です。)

	自己評価
--	------

**(4) 参加学生の募集・選抜方法(受入部分について)**

①参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法

	自己評価
--	------

②受入学生(支援希望学生)の選考基準(成績評価係数2.3以上(3.0満点)は資格及び要件として必須です。)

	自己評価
--	------

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

(5) 参加学生に対する支援体制

①参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する情報提供

--

②参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する生活支援

--

(6) 参加学生(プログラムに参加する全学生)の負担額等

**派遣**

参加費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
(参加費用内訳)	※参加費用とは、1人の学生がプログラムに参加するための費用で、申請大学等を介して支払われる費用です。学生本人が直接手配して支払う費用は参加費用に含まれません。記入例を参照ください。						
渡航・帰国費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
宿泊費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
保険料		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
その他必要経費		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)

**受入**

参加費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
(参加費用内訳)	※参加費用とは、1人の学生がプログラムに参加するための費用で、申請大学等を介して支払われる費用です。学生本人が直接手配して支払う費用は参加費用に含まれません。記入例を参照ください。						
渡日・帰国費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
宿泊費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
保険料		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
その他必要経費		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

(5) 参加学生に対する支援体制

①参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する情報提供

--

②参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する生活支援

--

(6) 参加学生(プログラムに参加する全学生)の負担額等

**派遣**

参加費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
(参加費用内訳)	※参加費用とは、1人の学生がプログラムに参加するための費用で、申請大学等を介して支払われる費用です。学生本人が直接手配して支払う費用は参加費用に含まれません。記入例を参照ください。						
渡航・帰国費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
宿泊費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
保険料		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
その他必要経費		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)

**受入**

参加費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
(参加費用内訳)	※参加費用とは、1人の学生がプログラムに参加するための費用で、申請大学等を介して支払われる費用です。学生本人が直接手配して支払う費用は参加費用に含まれません。記入例を参照ください。						
渡日・帰国費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
宿泊費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
保険料		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
その他必要経費		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)

自己評価
自己評価

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

#### 4. フォローアップ・成果検証の実施

(1)フォローアップ
①参加学生(プログラムに参加する全学生)の派遣前、派遣後の効果測定や意識の変化の把握状況(派遣部分)
②プログラム参加学生・不参加学生の比較調査等、自己点検による成果確認(派遣部分)
③参加学生(プログラムに参加する全学生)の受入前、受入後の効果測定や意識の変化の把握状況(受入部分)
④自己点検による成果確認(受入部分)
⑤実施報告会・シンポジウム開催・SNSの活用等による成果の発信・波及
⑥機構が実施する各種調査への協力体制

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

#### 4. フォローアップ・成果検証の実施及び自己評価

(1)フォローアップ	
①参加学生(プログラムに参加する全学生)の派遣前、派遣後の効果測定や意識の変化の把握状況(派遣部分)	自己評価
②プログラム参加学生・不参加学生の比較調査等、自己点検による成果確認(派遣部分)	自己評価
③参加学生(プログラムに参加する全学生)の受入前、受入後の効果測定や意識の変化の把握状況(受入部分)	自己評価
④自己点検による成果確認(受入部分)	自己評価
⑤実施報告会・シンポジウム開催・SNSの活用等による成果の発信・波及	自己評価
⑥機構が実施する各種調査への協力体制	自己評価



学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

**5. プログラムの自立化・発展性・継続性**

(1)フォローアップ・成果検証をプログラムの継続、発展のために活用し、自立的な改善を図る体制

--

**(2)派遣計画**

**①プログラムの過去の実績**

過去3年間の 当該プログラム 派遣学生実績数	平成27年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名 )
	平成26年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名 )
	平成25年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名 )

特にアピールすべき過去の実績	
----------------	--

**(2)次年度以降の実施計画**

--

**(3)受入計画**

**①プログラムの過去の実績**

過去3年間の 当該プログラム 受入学生実績数	平成27年度	総受入学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名 )
	平成26年度	総受入学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名 )
	平成25年度	総受入学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名 )

特にアピールすべき過去の実績	
----------------	--

**(2)次年度以降の実施計画**

--

**(4)プログラム実施のための本制度以外の財源確保の取組(奨学金の確保・実施経費の確保)**

--

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

**5. プログラムの自立化・発展性・継続性**

(1)フォローアップ・成果検証をプログラムの継続、発展のために活用し、自立的な改善を図る体制

--

自己評価
------

**(2)派遣計画**


--	--

**(2)次年度以降の実施計画**

--

自己評価
------

**(3)受入計画**


--	--

**(2)次年度以降の実施計画**

--

自己評価
------

**(4)プログラム実施のための本制度以外の財源確保の取組(奨学金の確保・実施経費の確保)**

--

自己評価
------

**記入例・記入要領**

※プログラム計画内容の各欄（B列～X列）については、計画書と同じ内容を記載してください。

（この記入例シートの印刷設定はA3サイズとなっています。）

様式G

平成28年度海外留学支援制度（協定派遣・協定受入）計画書

平成28年度海外留学支援制度（協定派遣・協定受入）実施報告書

プログラム形態	No.
双方向協定型	
学校コード	<p><b>【記入要領】</b>                  ○プログラム実施報告書（様式G）は、平成28年度海外留学支援制度（協定派遣・協定受入）の応募時に提出した「平成28年度海外留学支援制度（協定派遣・協定受入）プログラム計画書」（以下「計画書」という。）の記載内容に対する実績を記入してください。短期研修・研究型も各項目の注意事項は同様です。                  ○計画書とプログラム実施報告書（様式G）の記入項目は共通していますので、計画書の記載内容を踏まえてプログラム実施報告書（様式G）を作成してください。                  ○未記入がないよう必ず全項目に記載してください。                  ○プログラム実施報告書（様式G）の「自己評価」欄については、各項目における達成度を、ドロップダウンリスト（▼）から選択してください。                  ※プログラム実施報告書（様式G）は機構ホームページ等で公開する場合があります。</p>
国内大学等名	
コンソーシアム国内参加校名 <small>（該当の場合のみ記入）</small>	

**○プログラムの概要**

プログラム名

(1)プログラムの概要(要約)  
 ※2頁～10頁までの内容を簡潔に10行程度で記載してください。なお、この欄は審査の対象とはなりません。  
 また、プログラムが採択された場合、こちらの内容を機構のホームページ等で公開する場合があります。

※プログラム計画内容の各欄（B列～X列）については、計画書と同じ内容を記載してください。  
 ただし、「支援希望人数」及び「人月数」は採択決定時の通知のとおりに記載してください。

**○プログラムの概要**

プログラム名	プログラム番号
--------	---------

(1)プログラムの概要(要約)  
 ※2頁～10頁までの内容を簡潔に10行程度で記載してください。なお、この欄は審査の対象とはなりません。  
 また、プログラムが採択された場合、こちらの内容を機構のホームページ等で公開する場合があります。

・実施報告書の「プログラム期間」欄は、当初計画から変更があった場合、「登録データ」において開始時期が最も早い学生の開始年月から終了時期が最も遅い学生の終了年月を入力してください。

(2)プログラムの実施計画

プログラム期間(奨学金支給対象者のプログラム参加期間)

派遣	平成		年		月～平成		年		月
受入	平成		年		月～平成		年		月

(2)プログラムの実施実績

プログラム期間(奨学金支給対象者のプログラム参加期間)

派遣	平成		年		月～平成		年		月
受入	平成		年		月～平成		年		月

**派遣** (受入に関する部分は次頁の入力欄に別途入力してください。)

地域区分	指定都市	甲			乙			丙			計	
		校	名	人	校	名	人	校	名	人	校	名
プログラム参加大学等数											0	校
総派遣計画人数											0	名

派遣先国  
 \*複数ある場合は半角カンマで区切ってください。

地域区分	指定都市	甲			乙			丙			計	
		名	人	月	名	人	月	名	人	月	名	人
支援希望人数											0	名
人月数(H28年度) A H28年4月～H29年3月分											0	人月
人月数(H29年度) B H29年4月～H30年2月分											0	人月
人月数(合計)A+B		0	人月	0	人月	0	人月	0	人月	計	0	人月

本制度による奨学金支援希望  
 \*人月数は、全支援希望学生の留学総月数を、年度ごとに記入してください。

**派遣** (受入に関する部分は次頁の入力欄に別途入力してください。)

地域区分	指定都市	甲			乙			丙			計	
		校	名	人	校	名	人	校	名	人	校	名
プログラム参加大学等数												
総派遣実績人数												

派遣先国  
 \*複数ある場合は半角カンマで区切ってください。

地域区分	指定都市	甲			乙			丙			計	
		名	人	月	名	人	月	名	人	月	名	人
支援実績人数												
人月数(H28年度) H28年4月～H29年3月分												
人月数(H29年度) H29年4月～H30年2月分												
人月数(合計)A+B												

本制度による奨学金支援実績  
 \*人月数は、全支援実績人数の支給実績総月数を、年度ごとに記入してください。

**自己評価**

達成できた

(2)プログラムの実施実績  
 実際のプログラムの実施期間、奨学金割当人数を記載し、右の「自己評価」欄において、以下の項目から該当する自己評価をドロップダウンリストから選択してください。

- 達成できた  
 →計画人数及び計画人月数のどちらも7割以上を達成
- 概ね達成できた  
 →計画人数及び計画人月数のどちらも5割以上を達成
- 計画どおり達成できなかった  
 →計画人数及び計画人月数のどちらか一方が5割未満の達成

**自己評価**

達成できた

学校コード	※プログラム計画内容の各欄(B列～X列)については、 計画書と同じ 内容を記載してください。
プログラム名	

### 受入

地域区分(参考)	指定都市	甲	乙	丙	計
プログラム参加大学等数	校	校	校	校	計 0 校
総受入計画人数	名	名	名	名	計 0 名

留学生出身国 *複数ある場合は 半角カンマで区 切ってください。	
---	--

地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計
支援希望人数	名	名	名	名	計 0 名
人月数(H28年度) A H28年4月～H29年3月分					0
人月数(H29年度) B H29年4月～H30年2月分					0
人月数(合計)A+B	0 人月	0 人月	0 人月	0 人月	計 0 人月

\*人月数は、全支援希望学生の留学総月数を、年度ごとに記入してください。

#### (3)プログラムの参加対象

#### 派遣

学科・学部・研究科の別	対象となる学科・学部・研究科	学年
学科		第 年次
学部		
研究科		
		M
		D

#### 受入

学科・学部・研究科の別	対象となる学科・学部・研究科	学年
学科		第 年次
学部		
研究科		
		M
		D

学校コード	国内大学等名
プログラム名	

### 受入

地域区分(参考)	指定都市	甲	乙	丙	計
プログラム参加大学等数	校	校	校	校	計 0 校

留学生出身国 *複数ある場合は 半角カンマで区 切ってください。	
---	--

地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計
支援実績人数					
人月数(H28年度) H28年4月～H29年3月分					
人月数(H29年度) H29年4月～H30年2月分					
人月数(合計)					

\*人月数は、全支援実績人数の支給実績総月数を、年度ごとに記入してください。

#### (3)プログラムの参加学生

#### 派遣

学科・学部・研究科の別	参加学生の所属学科・学部・研究科	学年
学科		第 年次
学部		
研究科		
		M
		D

#### 受入

学科・学部・研究科の別	参加学生の所属学科・学部・研究科	学年
学科		第 年次
学部		
研究科		
		M
		D

2) プログラムの実施実績  
実際のプログラムの実施期間、奨学金割当人数を記載し、右の「自己評価」欄において、以下の項目から該当する自己評価をドロップダウンリストから選択してください。

- 達成できた  
→計画人数及び計画人月数のどちらも7割以上を達成
- 概ね達成できた  
→計画人数及び計画人月数のどちらも5割以上を達成
- 計画どおり達成できなかった  
→計画人数及び計画人月数のどちらか一方が5割未満の達成

(3) プログラムの参加学生  
参加学生の所属(学科・学部等)の実績を記載し、右の「自己評価」欄において、以下の項目から該当する自己評価をドロップダウンリストから選択してください。

- 達成できた
- 概ね達成できた
- 計画どおり達成できなかった

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

1. プログラムの目的・達成目標

①プログラムの目的

※プログラム計画内容の各欄（B列～X列）については、計画書と同じ内容を記載してください。

②養成しようとするグローバル人材像・質の高い留学生像

③プログラムの達成目標(制度の趣旨・目的の観点から)

④必要となる語学力水準の設定(派遣部分について)

⑤プログラム参加学生(プログラムに参加する全学生)の達成目標(派遣部分について)

⑥プログラムの達成目標(受入大学等の国際化推進の観点から)(受入部分について)

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

1. プログラムの目的・達成目標及び自己評価

①プログラムの目的・成果

(本ページ 各項目)  
計画に対する実績(成果)及びそれに向けた取組みについて具体的に記載するとともに、右の「自己評価」欄において、以下の項目から該当する自己評価をドロップダウンリストから選択してください。

- ・達成できた
- ・概ね達成できた
- ・計画どおり達成できなかった

②養成しようとするグローバル人材像・

③プログラムの達成目標(制度の趣旨・目的の観点から)・成果

④必要となる語学力水準の設定(派遣部分について)

⑤プログラム参加学生(プログラムに参加する全学生)の達成目標(派遣部分について)・成果

⑥プログラムの達成目標(受入大学等の国際化推進の観点から)(受入部分について)・成果

自己評価  
達成できた

自己評価  
達成できた

自己評価  
達成できた

自己評価  
達成できた

自己評価  
達成できた

自己評価  
達成できた

学校コード	※プログラム計画内容の各欄（B列～X列）については、 計画書と同じ 内容を記載してください。
プログラム名	

## 2. プログラムの内容

(1)プログラムの計画
①参加学生(プログラムに参加する全学生)の進路選択・検討(長期間の留学含む)に対する触発・動機付けする内容
②参加学生(プログラムに参加する全学生)の語学力の向上に向けた内容(派遣部分について)
③派遣先大学等における現地学生との交流計画(派遣部分について)
④受入大学等における日本人学生との交流計画(受入部分について)
⑤参加学生(プログラムに参加する全学生)の専攻に応じたプログラムの内容

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

## 2. プログラムの内容及び自己評価

(1)プログラムの計画		自己評価
①参加学生(プログラムに参加する全学生)の進路選択・検討(長期間の留学含む)に対する触発・動機付けする内容		達成できた
	<p>(本ページ 各項目) 計画に対する実績(成果)及びそれに向けた取組みについて具体的に記載するとともに、右の「自己評価」欄において、以下の項目から該当する自己評価をドロップダウンリストから選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成できた</li> <li>・概ね達成できた</li> <li>・計画どおり達成できなかった</li> </ul>	自己評価
②参加学生(プログラムに参加する全学生)の語学力の向上に向けた内容(派遣部分について)		達成できた
③派遣先大学等における現地学生との交流計画(派遣部分について)		自己評価
		達成できた
④受入大学等における日本人学生との交流計画(受入部分について)		自己評価
		達成できた
⑤参加学生(プログラムに参加する全学生)の専攻に応じたプログラムの内容		自己評価
		達成できた

学校コード	※プログラム計画内容の各欄（B列～X列）については、 計画書と同じ内容を記載してください。
プログラム名	

⑥プログラムの全参加人数及び奨学金支給割当希望人数の計画の考え方

--

⑦学生派遣・学生受入の双方向交流計画

--

(2)単位付与

①単位付与・単位認定・単位互換の方法  
(単位による修学成果測定が行われない場合、これに代わる修学成果測定の方法)

--

派遣

付与単位数 (日本側で付与するもの)		認定単位数 (派遣先大学等が発行する修了書等に基づき日本側で認定するもの)		互換単位数 (大学間交流協定等に基づき派遣先大学等で取得した単位を日本側で認定するもの)	
-----------------------	--	--	--	---	--

受入

付与単位数 (在籍大学等で付与するもの)		認定単位数 (受入大学等が発行する修了書等に基づき在籍大学等で認定するもの)		互換単位数 (大学間交流協定等に基づき受入大学等で取得した単位を在籍大学等で認定するもの)	
-------------------------	--	---	--	--	--

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

⑥プログラムの全参加人数及び奨学金支援実績人数について

	自己評価 達成できた
--	---------------

(本ページ 単位数の項目を除く)  
計画に対する実績(成果)及びそれに向けた取組みについて具体的に記載するとともに、右の「自己評価」欄において、以下の項目から該当する自己評価をドロップダウンリストから選択してください。

- 達成できた
- 概ね達成できた
- 計画どおり達成できなかった

⑦学生派遣・学生受入の双方向交流計画

	自己評価 達成できた
--	---------------

(2)単位付与

①単位付与・単位認定・単位互換の方法  
(単位による修学成果測定が行われない場合、これに代わる修学成果測定の方法)

	自己評価 達成できた
--	---------------

派遣

付与単位数 (日本側で付与するもの)		認定単位数 (派遣先大学等が発行する修了書等に基づき日本側で認定するもの)		互換単位数 (大学間交流協定等に基づき派遣先大学等で取得した単位を日本側で認定するもの)	
-----------------------	--	--	--	---	--

受入

付与単位数 (在籍大学等で付与するもの)		認定単位数 (受入大学等が発行する修了書等に基づき在籍大学等で認定するもの)		互換単位数 (大学間交流協定等に基づき受入大学等で取得した単位を在籍大学等で認定するもの)	
-------------------------	--	---	--	--	--

実際の付与単位数、認定単位数、互換単位数を記載するとともに、右の「自己評価」欄において、該当する自己評価をドロップダウンリストから選択してください。

- 達成できた
- 概ね達成できた
- 計画どおり達成できなかった

学校コード	※プログラム計画内容の各欄（B列～X列）については、 計画書と同じ内容を記載してください。
プログラム名	

### 3. 実施体制

#### (1) 管理体制

プログラムの 責任者・代表者	所属課	氏名
-------------------	-----	----

#### ① 危機管理体制

--

#### ② プログラム実施に携わる教職員の国際経験（語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等）

--

#### (2) 学生交流協定の内容

#### ① 学生派遣・受入に係る条項の概要（授業料不徴収・免除、宿舍手配等の修学・生活支援含む）

--

#### ② 単位付与に係る条項(条件)の概要

成績証明書	修了証	参加学生(プログラムに参加する 全学生)への事前周知
-------	-----	-------------------------------

--

#### ③ 学生交流協定等の合意内容・連携の有無

--

学校コード	国内大学等名
プログラム名	

### 3. 実施体制及び自己評価

#### (1) 管理体制

プログラムの 責任者・代表者	所属課
-------------------	-----

#### ① 危機管理体制

--

#### ② プログラム実施に携わる

--

#### (2) 学生交流協定の内容

#### ① 学生派遣・受入に係る条項の概要（授業料不徴収・免除、宿舍手配等の修学・生活支援含む）

--

#### ② 単位付与に係る条項(条件)の概要

成績証明書	修了証	参加学生(プログラムに参加する 全学生)への事前周知
-------	-----	-------------------------------

--

#### ③ 学生交流協定等の合意内容・連携の有無

--

計画書に記載された所属・責任者（代表者）から変更があった場合、プログラム実施時における責任者（代表者）を記載してください。変更がない場合は計画時の責任者・代表者を記載してください。

（本ページ 各項目）  
計画に対する実績（成果）及びそれに向けた取組みについて具体的に記載するとともに、右の「自己評価」欄において、以下の項目から該当する自己評価をドロップダウンリストから選択してください。

- ・達成できた
- ・概ね達成できた
- ・計画どおり達成できなかった

自己評価 達成できた
自己評価 達成できた
自己評価 達成できた
自己評価 達成できた
自己評価 達成できた
自己評価 達成できた
自己評価 達成できた

学校コード	※プログラム計画内容の各欄（B列～X列）については、 計画書と同じ 内容を記載してください。
プログラム名	

(3) 参加学生の募集・選抜方法(派遣部分について)

①参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法

--

②派遣学生(支援希望学生)の選考基準(成績評価係数2.3以上(3.0満点)は資格及び要件として必須です。)

--

(4) 参加学生の募集・選抜方法(受入部分について)

①参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法

--

②受入学生(支援希望学生)の選考基準(成績評価係数2.3以上(3.0満点)は資格及び要件として必須です。)

--

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

(3) 参加学生の募集・選抜方法(派遣部分について)

①参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法

--

自己評価  
達成できた

(本ページ各項目)  
計画に対する実績(成果)及びそれに向けた取組みについて具体的に記載するとともに、右の「自己評価」欄において、以下の項目から該当する自己評価をドロップダウンリストから選択してください。

- ・達成できた
- ・概ね達成できた
- ・計画どおり達成できなかった

②派遣学生(支援希望学生)の選考基準(成績評価係数2.3以上(3.0満点)は資格及び要件として必須です。)

--

自己評価  
達成できた

(4) 参加学生の募集・選抜方法(受入部分について)

①参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法

--

自己評価  
達成できた

②受入学生(支援希望学生)の選考基準(成績評価係数2.3以上(3.0満点)は資格及び要件として必須です。)

--

自己評価  
達成できた



学校コード	※プログラム計画内容の各欄（B列～X列）については、 計画書と同じ内容を記載してください。
プログラム名	

(5) 参加学生に対する支援体制

①参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する情報提供

--

②参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する生活支援

--

(6) 参加学生(プログラムに参加する全学生)の負担額等

派遣

参加費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
(参加費用内訳)	※参加費用とは、1人の学生がプログラムに参加するための費用で、申請大学等を介して支払われる費用です。学生本人が直接手配して支払う費用は参加費用に含まれません。記入例を参照ください。						
渡航・帰国費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
宿泊費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
保険料		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
その他必要経費		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)

受入

参加費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
(参加費用内訳)	※参加費用とは、1人の学生がプログラムに参加するための費用で、申請大学等を介して支払われる費用です。学生本人が直接手配して支払う費用は参加費用に含まれません。記入例を参照ください。						
渡日・帰国費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
宿泊費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
保険料		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
その他必要経費		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

(5) 参加学生に対する支援体制

①参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する情報提供

--

自己評価  
達成できた

計画に対する実績（成果）及びそれに向けた取組みについて具体的に記載するとともに、右の「自己評価」欄において、以下の項目から該当する自己評価をドロップダウンリストから選択してください。

- ・達成できた
- ・概ね達成できた
- ・計画どおり達成できなかった

②参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する生活支援

--

自己評価  
達成できた

(6) 参加学生(プログラムに参加する全学生)の負担額等

(6) は、計画書に記載された金額を記載してください。変更があったものにも限り、変更

派遣

参加費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
(参加費用内訳)	※参加費用とは、1人の学生がプログラムに参加するための費用で、申請大学等を介して支払われる費用です。学生本人が直接手配して支払う費用は参加費用に含まれません。記入例を参照ください。						
渡航・帰国費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
宿泊費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
保険料		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
その他必要経費		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)

受入

参加費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
(参加費用内訳)	※参加費用とは、1人の学生がプログラムに参加するための費用で、申請大学等を介して支払われる費用です。学生本人が直接手配して支払う費用は参加費用に含まれません。記入例を参照ください。						
渡日・帰国費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
宿泊費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
保険料		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
その他必要経費		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)

学校コード	
プログラム名	※プログラム計画内容の各欄（B列～X列）については、計画書と同じ内容を記載してください。

#### 4. フォローアップ・成果検証の実施

(1)フォローアップ	
①参加学生(プログラムに参加する全学生)の派遣前、派遣後の効果測定や意識の変化の把握状況(派遣部分)	
②プログラム参加学生・不参加学生の比較調査等、自己点検による成果確認(派遣部分)	
③参加学生(プログラムに参加する全学生)の受入前、受入後の効果測定や意識の変化の把握状況(受入部分)	
④自己点検による成果確認(受入部分)	
⑤実施報告会・シンポジウム開催・SNSの活用等による成果の発信・波及	
⑥機構が実施する各種調査への協力体制	

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

#### 4. フォローアップ・成果検証の実施及び自己評価

(1)フォローアップ		
①参加学生(プログラムに参加する全学生)の派遣前、派遣後の効果測定や意識の変化の把握状況(派遣部分)		自己評価 計画どおり実施している
②プログラム参加学生・不参加		自己評価 計画どおり実施している
③参加学生(プログラムに参加する)		自己評価 計画どおり実施している
④自己点検による成果確認(受入部分)		自己評価 計画どおり実施している
⑤実施報告会・シンポジウム開催・SNSの活用等による成果の発信・波及		自己評価 計画どおり実施している
⑥機構が実施する各種調査への協力体制		自己評価 計画どおり実施している

(本ページ各項目)  
計画に対する実績(成果)及びそれに向けた取り組みについて具体的に記載するとともに、右の「自己評価」欄において、以下の項目から該当する自己評価をドロップダウンリストから選択してください。

- ・計画どおり実施している
- ・概ね計画どおり実施している
- ・計画どおりできていない

学校コード	※プログラム計画内容の各欄（B列～X列）については、 計画書と同じ内容を記載してください。
プログラム名	

5. プログラムの自立化・発展性・継続性

(1) フォローアップ・成果検証をプログラムの継続、発展のために活用し、自立的な改善を図る体制

--	--	--	--	--	--

(2) 派遣計画

① プログラムの過去の実績

過去3年間の 当該プログラム 派遣学生実績数	平成27年度	総派遣学生数		名	(内、本制度奨学金受給者数		名)
	平成26年度	総派遣学生数		名	(内、本制度奨学金受給者数		名)
	平成25年度	総派遣学生数		名	(内、本制度奨学金受給者数		名)

特にアピールすべき 過去の実績					
--------------------	--	--	--	--	--

(2) 次年度以降の実施計画

--	--	--	--	--	--

(3) 受入計画

① プログラムの過去の実績

過去3年間の 当該プログラム 受入学生実績数	平成27年度	総受入学生数		名	(内、本制度奨学金受給者数		名)
	平成26年度	総受入学生数		名	(内、本制度奨学金受給者数		名)
	平成25年度	総受入学生数		名	(内、本制度奨学金受給者数		名)

特にアピールすべき 過去の実績					
--------------------	--	--	--	--	--

(2) 次年度以降の実施計画

--	--	--	--	--	--

(4) プログラム実施のための本制度以外の財源確保の取組(奨学金の確保・実施経費の確保)

--	--	--	--	--	--

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

5. プログラムの自立化・発展性・継続性

(1) フォローアップ・成果検証をプログラムの継続、発展のために活用し、自立的な改善を図る体制

--	--	--	--	--	--

(2) 派遣計画

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

(2) 次年度以降の実施計画

--	--	--	--	--	--

(3) 受入計画

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

(2) 次年度以降の実施計画

--	--	--	--	--	--

(4) プログラム実施のための本制度以外の財源確保の取組(奨学金の確保・実施経費の確保)

--	--	--	--	--	--

自己評価  
計画どおり実施している

自己評価  
計画どおり実施している

自己評価  
計画どおり実施している

自己評価  
達成できた

(本ページ各項目)  
計画に対する実績(成果)及びそれに向けた取り組みについて具体的に記載するとともに、右の「自己評価」欄において、以下の項目から該当する自己評価をドロップダウンリストから選択してください。

(4) 以外の選択肢

- ・ 計画どおり実施している
- ・ 概ね計画どおり実施している
- ・ 計画どおりできていない

(4) の選択肢

- ・ 達成できた
- ・ 概ね達成できた
- ・ 計画どおり達成できなかった



平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)計画書

プログラム形態	No.
短期研修・研究型	

  

学校コード		大学等所在地	
国内大学等名		国公立設置形態	
コンソーシアム 国内参加校名 (該当の場合のみ記入)	※コンソーシアム単位での申請の場合:「国内大学等名」欄に実施代表校名を「●●校(代表校)」と記入、「コンソーシアム国内参加校名」欄に代表校以外の参加校名を記入(複数ある場合は半角カンマ区切り)		

○プログラムの概要

プログラム名	
(1)プログラムの概要(要約) ※2頁～8頁までの内容を簡潔に10行程度で記載してください。なお、この欄は審査の対象とはなりません。 また、プログラムが採択された場合、こちらの内容を機構のホームページ等で公開する場合があります。	

(2)プログラムの実施計画全般

プログラム期間 (奨学金支給対象者のプログラム参加期間)	平成		年		月～平成		年		月
	地域区分		指定都市	甲	乙	丙	計		
	プログラム参加大学等数		校	校	校	校	計	0	校
派遣先国 *複数ある場合は半角カンマで区切ってください。									

(3)本制度による奨学金支援希望

	地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計		
	支援希望人数	名	名	名	名	計	0	名
*人月数は、全支援希望学生の留学総月数を、年度ごとに記入してください。	人月数(H28年度) A H28年4月～H29年3月分						0	
	人月数(H29年度) B H29年4月～H30年2月分						0	
	人月数(合計)A+B	0	人月	0	人月	0	人月	計 0 人月

(4)プログラムの参加対象

対象となる学生	学科・学部・研究科の別	対象となる学科・学部・研究科		学年	
	学科		学科	第	年次
	学部		学部		
	研究科		研究科	M	
			D		

平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)計画書

プログラム形態	No.
短期研修・研究型	

  

学校コード	(自動入力)	大学等所在地	(自動入力)
国内大学等名	(自動入力)	国公立設置形態	(自動入力)
コンソーシアム 国内参加校名 (該当の場合のみ記入)	(自動入力)	※コンソーシアム単位での申請の場合:「国内大学等名」欄に実施代表校名を「●●校(代表校)」と記入、「コンソーシアム国内参加校名」欄に代表校以外の参加校名を記入(複数ある場合は半角カンマ区切り)	

○プログラムの概要

プログラム名	(自動入力)	プログラム番号	
(1)プログラムの概要(要約) ※2頁～8頁までの内容を簡潔に10行程度で記載してください。なお、この欄は審査の対象とはなりません。 また、プログラムが採択された場合、こちらの内容を機構のホームページ等で公開する場合があります。			
(自動入力)			

(2)プログラムの実施実績

プログラム期間 (奨学金支給対象者のプログラム参加期間)	平成		年		月～平成		年		月
	地域区分		指定都市	甲	乙	丙	計		
	プログラム参加大学等数		校	校	校	校	計	0	校
派遣先国 *複数ある場合は半角カンマで区切ってください。									

(3)本制度による奨学金支援実績

	地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計		
	支援実績人数	名	名	名	名	計	0	名
*人月数は、全支援実績学生の支援実績総月数を、年度ごとに記入してください。	人月数(H28年度) A H28年4月～H29年3月分						0	
	人月数(H29年度) B H29年4月～H30年2月分						0	
	人月数(合計)A+B	0	人月	0	人月	0	人月	計 0 人月

(4)プログラムの参加学生

参加学生	学科・学部・研究科の別	参加学生の所属学科・学部・研究科		学年	
	学科		学科	第	年次
	学部		学部		
	研究科		研究科	M	
			D		

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

1. プログラムの目的・達成目標

①プログラムの目的	
②養成しようとするグローバル人材像・質の高い留学生像	
③プログラムの達成目標(制度の趣旨・目的の観点から)	
④必要となる語学力水準の設定	
⑤プログラム参加学生(プログラムに参加する全学生)の達成目標	

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

1. プログラムの目的・達成目標及び自己評価

①プログラムの目的・成果	自己評価
②養成しようとするグローバル人材像・質の高い留学生像	自己評価
③プログラムの達成目標(制度の趣旨・目的の観点から)・成果	自己評価
④必要となる語学力水準の設定	自己評価
⑤プログラム参加学生(プログラムに参加する全学生)の達成目標・成果	自己評価

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

## 2. プログラムの内容

(1)プログラムの計画
①参加学生(プログラムに参加する全学生)の進路選択・検討(長期間の留学含む)に対する触発・動機付けする内容
②参加学生(プログラムに参加する全学生)の語学力の向上に向けた内容
③派遣先大学等における現地学生との交流計画
④参加学生(プログラムに参加する全学生)の専攻に応じたプログラムの内容

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

## 2. プログラムの内容及び自己評価

(1)プログラムの計画	
①参加学生(プログラムに参加する全学生)の進路選択・検討(長期間の留学含む)に対する触発・動機付けする内容	自己評価
②参加学生(プログラムに参加する全学生)の語学力の向上に向けた内容	自己評価
③派遣先大学等における現地学生との交流計画	自己評価
④参加学生(プログラムに参加する全学生)の専攻に応じたプログラムの内容	自己評価

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

⑤プログラムの全参加人数及び奨学金支給割当希望人数の計画の考え方

(2) 単位付与

① 単位付与・単位認定・単位互換の方法  
(単位による修学成果測定が行われない場合、これに代わる修学成果測定の方法)

②【31日以内のプログラムのみ記載】

履修科目との一体化・派遣前準備講習・派遣後フォローアップ講義等と併せる等による効果を高める取組

付与単位数 (日本側で付与するもの)		認定単位数 (派遣先大学等が発行する修了書等に基づき日本側で認定するもの)		互換単位数 (大学間交流協定等に基づき派遣先大学等で取得した単位を日本側で認定するもの)	
-----------------------	--	--	--	---	--

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

⑤プログラムの全参加人数及び奨学金支給実績人数について

自己評価

(2) 単位付与

① 単位付与・単位認定・単位互換の方法  
(単位による修学成果測定が行われない場合、これに代わる修学成果測定の方法)

自己評価

②【31日以内のプログラムのみ記載】

履修科目との一体化・派遣前準備講習・派遣後フォローアップ講義等と併せる等による効果を高める取組

自己評価

付与単位数 (日本側で付与するもの)		認定単位数 (派遣先大学等が発行する修了書等に基づき日本側で認定するもの)		互換単位数 (大学間交流協定等に基づき派遣先大学等で取得した単位を日本側で認定するもの)	
-----------------------	--	--	--	---	--

自己評価



学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

### 3. 実施体制

(1) 管理体制			
プログラムの責任者・代表者	所属課		氏名
① 危機管理体制			
② プログラム実施に携わる教職員の国際経験(語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等)			
(2) 学生交流協定(合意)の内容			
① 学生派遣に係る条項の概要(授業料不徴収・免除、宿舍手配等の修学・生活支援含む)			
② 単位付与に係る条項(条件)の概要			
成績証明書		修了証	参加学生(プログラムに参加する全学生)への事前周知
③ 学生交流協定等の合意内容・連携の有無			

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

### 3. 実施体制及び自己評価

(1) 管理体制				
プログラムの責任者・代表者	所属課		氏名	
① 危機管理体制				自己評価
② プログラム実施に携わる教職員の国際経験(語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等)				自己評価
(2) 学生交流協定(合意)の内容				
① 学生派遣に係る条項の概要(授業料不徴収・免除、宿舍手配等の修学・生活支援含む)				自己評価
② 単位付与に係る条項(条件)の概要				自己評価
成績証明書		修了証	参加学生(プログラムに参加する全学生)への事前周知	
③ 学生交流協定等の合意内容・連携の有無				自己評価

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

(3) 参加学生の募集・選抜方法

①参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法

--

②派遣学生(支援希望学生)の選考基準  
(成績評価係数2.3相当以上(3.0満点)と認められることは資格及び要件として必須です。)

--

(4) 参加学生に対する支援体制

①参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する情報提供

--

②参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する生活支援

--

(5) 参加学生(プログラムに参加する全学生)の負担額等

参加費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
(参加費用内訳)	※参加費用とは、1人の学生がプログラムに参加するための費用で、申請大学等を介して支払われる費用です。学生本人が直接手配して支払う費用は参加費用に含まれません。記入例を参照ください。						
渡航・帰国費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
宿泊費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
保険料		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
その他必要経費		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

(3) 参加学生の募集・選抜方法

①参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法

	自己評価
--	------

②派遣学生(支援希望学生)の選考基準  
(成績評価係数2.3相当以上(3.0満点)と認められることは資格及び要件として必須です。)

	自己評価
--	------

(4) 参加学生に対する支援体制

①参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する情報提供

	自己評価
--	------

②参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する生活支援

	自己評価
--	------

(5) 参加学生(プログラムに参加する全学生)の負担額等

参加費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
(参加費用内訳)	※参加費用とは、1人の学生がプログラムに参加するための費用で、申請大学等を介して支払われる費用です。学生本人が直接手配して支払う費用は参加費用に含まれません。記入例を参照ください。						
渡航・帰国費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
宿泊費用		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
保険料		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)
その他必要経費		円	(うち本人負担		円、プログラム負担		円)

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

#### 4. フォローアップ・成果検証の実施

(1)フォローアップ
①参加学生(プログラムに参加する全学生)の派遣前、派遣後の効果測定や意識の変化の把握状況
②プログラム参加学生・不参加学生の比較調査等、自己点検による成果確認
③実施報告会・シンポジウム開催・SNSの活用等による成果の発信・波及
④機構が実施する各種調査への協力体制

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

#### 4. フォローアップ・成果検証の実施及び自己評価

(1)フォローアップ	自己評価
①参加学生(プログラムに参加する全学生)の派遣前、派遣後の効果測定や意識の変化の把握状況	
②プログラム参加学生・不参加学生の比較調査等、自己点検による成果確認	自己評価
③実施報告会・シンポジウム開催・SNSの活用等による成果の発信・波及	自己評価
④機構が実施する各種調査への協力体制	自己評価

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

5. プログラムの自立化・発展性・継続性

(1)フォローアップ・成果検証をプログラムの継続、発展のために活用し、自立的な改善を図る体制

--	--	--	--	--	--

(2)派遣計画


(2)次年度以降の実施計画

--	--	--	--	--	--

(3)プログラム実施のための本制度以外の財源確保の取組(奨学金の確保・実施経費の確保)

--	--	--	--	--	--

学校コード	(自動入力)	国内大学等名	(自動入力)
プログラム名	(自動入力)		

5. プログラムの自立化・発展性・継続性

(1)フォローアップ・成果検証をプログラムの継続、発展のために活用し、自立的な改善を図る体制

		自己評価
--	--	------

(2)派遣計画


(2)次年度以降の実施計画

		自己評価
--	--	------

(3)プログラム実施のための本制度以外の財源確保の取組(奨学金の確保・実施経費の確保)

		自己評価
--	--	------

プログラム実施報告書提出に併せて、本シートも提出してください。全てのデータが様式Gの各項目から自動反映されます。

基本情報															自己評価																															
学校 コード	大学等名	プログラム 形態	プログラム 番号	プログラム名	実施期間				実績大 学等数	実績人 数	実績人月数 H28 H29	プログラムの概要				1. プログラムの目的・達成目標及び自己評価										2. プログラムの内容及び自己評価							3. 実施体制及び自己評価						4. フォローアップ・成果検証の実施及び自己評価				5. プログラムの自立化・発展性・継続性及び自己評価			
					開始年	開始月	終了年	終了月				プログラムの目的・達成目標	グローバル人材・質の高い留学生像	必要となる能力水準の設定	プログラム参加学生の達成率	(1)プログラムの計画					(2)単位付与					①危機管理 体制	②プログラムの実施に携わる教職員 (語学、協定締結や学生交流プログラムの実施経験など)	(2)学生交流協定(合意)の内容		③短期派遣学生の募集・選抜方法	④派遣学生に対する生活支援	(1)フォローアップ		①参加学生の派遣前、派遣後の効果測定や意識の変化の把握状況	②プログラム参加学生、不参加学生の比較調査等、自己点検による成果確認	③実施報告会・シンポジウム開催・SNSの活用等による成果の発信・波及	④機構が実施する各種調査への協力体制	①フォローアップ・成果検証をプログラムの継続、発展のために活用し、自立的な改善を図る体制	②次年度以降の実施計画	③プログラム実施のための本制度以外の財源確保の取組み (奨学金の確保・実施経費の確保)						
																プログラム実施期間	派遣参加 大学等数	派遣奨学 金支援実 績	派遣プロ グラムの 参加学生	①参加学生	②参加学 生の専攻 プログラム の内容	③派遣先 国・地域 (長期/短期の留学 含む)に対 する輸送・ 動機付けす る内容	④参加学 生の向上 に向けた 計画	⑤プログラ ムの参加 人数につ いて	①単位付 与・単位互 換の方法 (単位によ る修学成果 認定が行わ れない場合、これに 代わる修学 成果認定の 取り組み)			履修科目と の一体性・ 関連性(実 践・実習・ 調査・派遣 先・派遣先 の文化・慣 習・言語等 を踏まえて 評価)	付与単位 数			認定単位 数	互換単位 数								単位付与 評価	(2)派遣先 の授業内 容・連携 の有無	①派遣学 生の募集 ・選抜 方法	②派遣学 生の選考 基準	①参加学 生に対する 情報提供	②参加学 生に対する 生活支 援
記 入 欄					0	0	0	0	0	0																																				



様式 H  
文書 番号  
平成 年 月 日

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード

大学等名

大学等の長名

公印

## 平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)支給対象者修了報告書

標記について、下記のとおり報告いたします。

### 記

プログラム番号		プログラム形態	
プログラム名			

(報告物)

- ①支給対象者修了報告書(派遣学生用)(様式H-2) \_\_\_\_\_ 部(別添のとおり)
- ②派遣状況調査票(大学等取りまとめ用)(様式H-4) \_\_\_\_\_ 人分(Eメールにて提出)

(備考)

(注意)

原則として採択プログラムの実施終了月の翌月末日までに機構理事長に提出してください。

1つのプログラムで支給対象者ごとに支援終了月が異なる場合を除き、当該プログラム派遣学生全員分をまとめて提出してください。

1つのプログラムで支給対象者ごとに支援終了月が異なる場合は、それぞれの派遣終了月の翌月末日までに提出してください。

同一プログラムにおける複数回派遣者の様式H-2は、各回の提出ではなく最終回の支援終了月の翌月末日までに、支援期間全体を通した報告書を1部提出してください。

【書類作成担当者】

担当部署名: \_\_\_\_\_ 担当者名 \_\_\_\_\_

大学等所在地: 〒 \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_ E-mail: \_\_\_\_\_

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード 1 2 3 4 5 6

大学等名 支援大学

大学等の長名 青海 一郎 JASSO印

### 平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)支給対象者修了報告書

標記について、下記のとおり報告いたします。

プルダウンにより選択してください。

記

プログラム番号	WSK1612345601	プログラム形態	双方向協定型
プログラム名	〇〇××プログラム		

(報告物)

①支給対象者修了報告書(派遣学生用)(様式H-2)

40 部(別添のとおり)

②派遣状況調査票(大学等取りまとめ用)(様式H-4)

40 人分(Eメールにて提出)

(備考)

コンソーシアム協定に基づく派遣において、支給対象者の在籍校が代表校ではない報告者がいる場合は、備考欄に在籍校と支給対象者氏名を記載してください。

1つのプログラムで支給対象者ごとに支援終了月が異なる場合には、その都度提出する報告者の人数を入力してください。

(注意)

原則として採択プログラムの実施終了月の翌月末日までに機構理事長に提出してください。

1つのプログラムで支給対象者ごとに支援終了月が異なる場合を除き、当該プログラム派遣学生全員分をまとめて提出してください。

1つのプログラムで支給対象者ごとに支援終了月が異なる場合は、それぞれの派遣終了月の翌月末日までに提出してください。

同一プログラムにおける複数回派遣者の様式H-2は、各回の提出ではなく最終回の支援終了月の翌月末日までに、支援期間全体を通した報告書を1部提出してください。

【書類作成担当者】

担当部署名: \_\_\_\_\_ 担当者名 \_\_\_\_\_

大学等所在地: 〒 \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_ E-mail: \_\_\_\_\_

## 平成28年度支給対象者修了報告書(派遣学生用)

標記について、下記のとおり報告します。

## 記

## ○基本情報

派遣学生氏名		在籍大学等名	
派遣先大学等名		在籍課程・身分 (例:学士、修士)	
奨学金支給期間	平成 年 月 ~ 平成 年 月	派遣先国・地域名	

## ○報告内容

派遣プログラムの内容について(自由記述)※記載必須
学習成果について(自由記述)※記載必須
海外での経験について(自由記述)※記載必須
今後の進路への影響について(自由記述)※記載必須
その他(自由記述)

## ○学生署名欄(自筆):

※ 本報告書及び派遣状況調査票(派遣学生用)(様式H-3)は、在籍大学等が指定する期日までに必ず提出してください。

※ご記入いただいた情報は、日本学生支援機構または日本国政府が行う留学生支援のために必要な業務に利用され、機構ホームページ等で転載する可能性があります。  
また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてこの情報が必要に応じて提供されます。





















独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード

大学等名

大学等の長名

公印

## 平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)取得単位等報告書

標記について、下記のとおり報告いたします。

### 記

プログラム番号	プログラム形態	
プログラム名	当該プログラムの 派遣学生数 (支給対象者総数)	人

No.	登録者番号	派遣学生氏名	A)派遣先大学 等が付与または 発行する単位数 *1	B)在籍大学等 が付与または認 定する単位数 *1	B)の内訳	
					卒業所要 単位数	自由選択科目 単位数 *2
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

\*1 添付書類に記載された取得単位数(以下、注1参照)と同一

\*2 卒業所要単位として認定しない単位

注1) 単位認定が行われるプログラムは、成績証明書等の単位認定や単位付与が分かる単位付与元の書類の写しを添付してください。

なお、該当科目名及び取得単位数が分かるように成績証明書等の該当箇所に、必ずマーカー等で印をつけてください。

単位認定が行われないプログラムは、在籍大学等あるいは派遣先大学等が支給対象者に対し発行する修了証明書を添付してください。

ただし、成績証明書・修了報告書等が発行されない場合は、在籍大学等あるいは派遣先大学等において、プログラム修了者であることを証明する代替書類(①該当者の氏名、②在籍大学等及び派遣先大学等名、③登録者番号、④(単位認定が行われない場合のみ)取得単位数及び該当科目名を記載)を、支給対象者分について用意し、添付してください。

注2) 派遣学生が複数いる場合は、表の行を追加して作成し記入してください。

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード 123456

大学等名 支援大学

大学等の長名 青海 一郎 JASSO 公印

## 平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)取得単位等報告書

標記について、下記のとおり報告いたします。

記

プルダウンにより選択してください。

プログラム番号	WSK1612345602	プログラム形態	双方向協定型	
プログラム名	〇〇××プログラム	当該プログラムの 派遣学生数 (支給対象者総数)	5	人

No.	登録者番号	派遣学生氏名	A)派遣先大学等 が付与または発行 する単位数 *1	B)在籍大学等が 付与または認定 する単位数 *1	B)の内訳	
					卒業所要 単位数	自由選択科目 単位数 *2
1	WSK1612345602001	機構 次郎	4	4		4
2	WSK1612345602002	青海 砂子	4	4		4
3	WSK1612345602003	奨学 士郎	4	4		4
4	WSK1612345602004	派遣 学	4	4		4
5	WSK1612345602005	支援 つばめ	4	4		4
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

・Bの内訳であるため、在籍大学等が付与または認定した単位数の内、卒業要件として扱われる単位数を「卒業所要単位」へ、そうではない単位数を「自由選択科目単位数」へ記載してください。

・「卒業所要単位」と「自由選択科目単位数」の合計が、Bの数値になります。

\*1 添付書類に記載された取得単位数(以下、注1参照)と同一

\*2 卒業所要単位として認定しない単位

注1) 単位認定が行われるプログラムは、成績証明書等の単位認定や単位付与が分かる単位付与元の書類の写しを添付してください。

なお、該当科目名及び取得単位数が分かるように成績証明書等の該当箇所に、必ずマーカー等で印をつけてください。

単位認定が行われないプログラムは、在籍大学等あるいは派遣先大学等が支給対象者に対し発行する修了証明書を添付してください。

ただし、成績証明書・修了報告書等が発行されない場合は、在籍大学等あるいは派遣先大学等において、プログラム修了者であることを証明する代替書類(①該当者の氏名、②在籍大学等及び派遣先大学等名、③登録者番号、④(単位認定が行われない場合のみ)取得単位数及び該当科目名を記載)を、支給対象者分について用意し、添付してください。

注2) 派遣学生が複数いる場合は、表の行を追加して作成し記入してください。



様式 J

文書番号  
平成 年 月 日

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード

大学等名

大学等の長名

公印

## 平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)奨学金支給報告書

標記について、下記のとおり報告いたします。

## 記

## 1. 奨学金支給状況

プログラム番号			プログラム形態				
プログラム名							
実施期間	平成	年	月	～	平成	年	月
①平成28年度 支給申請総額		円	・平成28年度中に提出した「奨学金支給申請書」(様式B)により、支給申請した総額を記入する。				
②返納金総額		円	・平成28年4月以降、「返納報告書」(様式D)を提出し、機構に返納した総額を記入する。				
③平成28年度 支給実績 (=①-② 自動計算)	0	円	0	人	0	人月	
③内訳	指定都市	円		人		人月	
	甲地域	円		人		人月	
	乙地域	円		人		人月	
	丙地域	円		人		人月	

注)内訳が提出済み登録データと同一の内容となることを確認のうえ提出してください。

## 【書類作成担当者】

担当部署名:

担当者名:

大学等所在地: 〒

TEL:

FAX:

E-mail:

独立行政法人日本学生支援機構 海外留学支援制度

## 奨 学 金 受 給 証 明 書

CERTIFICATE OF JASSO STUDENT EXCHANGE SUPPORT PROGRAM  
(SCHOLARSHIP FOR SHORT-TERM STUDY ABROAD)

下記の者は、日本学生支援機構「海外留学支援制度（協定派遣）」奨学金の受給者であることを証明する。

This is to certify that the following student is a grantee of Japan Student Services Organization(JASSO) Student Exchange Support Program (Scholarship for Short-term Study Abroad).

## 記

氏 名 :  
Name

国 籍 :  
Nationality

奨学金の内容  
Scholarship Terms and Conditions

支給期間 : 年 月 日 から 年 月 日まで  
Period of Scholarship From (Year) (Month) (Day) to (Year) (Month) (Day)

奨学金月額 : 円  
Monthly Stipend Yen

年 月 日  
(Year) (Month) (Day)

大学等の名  
University/College

大学等の長名  
President

印

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学校コード 

大学等名

大学等の長名

印

## 海外留学支援制度(協定派遣)推薦書 (\_\_\_\_月締切分)

下記の学生を、海外留学支援制度(協定派遣)募集要項に定める学業成績要件を満たす者と同等であると認め、支援対象者として推薦いたします。

記

プログラム番号		推薦者数	人
プログラム名			

NO	学生氏名		判断事由		【学校保管】 自己推薦書 No.
	姓	名	主に該当する判断事由の記号ア～オを記載	(左記において、オを選択した場合のみ) 成績評価係数2.30相当以上と認め、本制度の支援を受けることが適当であると判断した事由を簡潔に記載する。	
①					
②					
③					
④					
⑤					

## 【判断事由】

対象学生について、成績評価係数2.30相当以上と認め、本制度の支援を受けることが適当であると判断した事由

ア : 語学力を評価した。

イ : プログラムに関連する分野の学業成績を評価した。

ウ : 前年度から現時点までの成績の向上を評価した。

エ : 学会・論文等の発表歴・受賞歴を評価した。

オ : その他(上表の判断事由欄に、事由を記載してください。)

(注1) 本推薦書は短期研修・研究型プログラムのみが対象です。

(注2) 本推薦書はプログラムごとに作成してください。

(注3) 推薦対象者が5人を超える場合は、別紙も使用し、併せて提出してください。

(注4) 成績評価係数が算出可能な者について、算出した成績評価係数が2.00以上2.30未満の場合で、プログラム参加者から提出された「自己推薦書(様式L-2)」の記載内容について、在籍大学等が審査し、成績評価係数2.30以上に相当する者として本制度の支援を受けることが適当であると判断する場合、本様式に認定事由を記載のうえ提出することにより、推薦が可能です。

また、選考時の前年度(前年度の成績がない場合は前期分)の成績が判明していない等により成績評価係数で表すことができないが、2.00以上2.30未満相当であると認められる者についても、同様に推薦が可能です。

(注5) 自己推薦書(様式L-2)に記入した「自己推薦書No.」と同じ番号を、本様式の「自己推薦書No.」欄に記入してください。なお、自己推薦書は、日本学生支援機構の求めがあった場合、速やかに提出できるよう保管してください。保管期間は採用された翌年度の4月1日から5年間です。

(注6) 本推薦書対象者についても、「成績評価係数確認書」(様式M)(学校保管)の作成は必要です。

## 海外留学支援制度(協定派遣)推薦書 別紙 ( \_\_\_月締切分)

NO	学生氏名		判断事由		【学校保 管】 自己推薦 書 No.
	姓	名	主に該当する判断 事由の記号ア～オ を記載	(左記において、オを選択した場合のみ) 成績評価係数2.30相当以上と認め、本制 度の支援を受けることが適当であると判断し た事由を簡潔に記載する。	
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
⑪					
⑫					
⑬					
⑭					
⑮					
⑯					
⑰					
⑱					
⑳					

## 【認定事由】

対象学生について、成績評価係数2.30相当以上と認め、本制度の支援を受けることが適当であると判断した事由

ア : 語学力を評価した。

イ : プログラムに関連する分野の学業成績を評価した。

ウ : 前年度から現時点までの成績の向上を評価した。

エ : 学会・論文等の発表歴・受賞歴を評価した。

オ : その他( 上表の判断事由欄に、事由を記載してください。 )

学校記入欄 自己推薦書No.

派

様式L-2  
(学校保管)

## 自己推薦書(協定派遣学生用)

すべての欄にもれなく入力もしくは記入してください。  
入力した場合は、印刷後、署名欄に必ず自筆で署名してください。

記入日 (yyyy/mm/dd)	
(ふりがな)	(ふりがな)
学生氏名	在籍大学等名

自己推薦内容として、以下の1. 2. について記入してください。

### 1. 学業・成績に関して、特筆すべきこと

● 記載(アピール)する内容を、以下の項目から☑選んでください。(複数選択可能)

語学力     得意分野の学業成績     学習態度     研究歴     学会・論文等の受賞・発表歴

● 上記で選んだ項目について、学業・成績に関わる最近の取組みや成果などを、具体的な数値や評価などを使って、記載(アピール)してください。

● 参加する留学プログラムに関連する内容を記載(アピール)してください。

● 記入例を参考に、今後の予定(TOEICを受ける予定など)や目標のみにならないように注意して記入してください。

### 2. 留学を志望した理由と、このプログラムで達成したい具体的な目標

学生署名欄 (自筆のみ)	
-----------------	--

※ご記入いただいた情報は、日本学生支援機構または日本国政府が行う留学生支援のために必要な業務に利用されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、必要に応じ、適正な範囲内においてこの情報が提供されます。

## 【記入例】

学校記入欄 自己推薦書No.

派

様式L-2  
(学校保管)

### 自己推薦書(協定派遣学生用)

すべての欄にもれなく入力もしくは記入してください。  
入力した場合は、印刷後、署名欄に必ず自筆で署名してください。

記入日 (yyyy/mm/dd)	
(ふりがな)	(ふりがな)
学生氏名	在籍大学等名

自己推薦内容として、以下の1. 2. について記入してください。
1. 学業・成績に関して、特筆すべきこと
●記載(アピール)する内容を、以下の項目から☑選んでください。(複数選択可能) <input type="checkbox"/> 語学力 <input type="checkbox"/> 得意分野の学業成績 <input type="checkbox"/> 学習態度 <input type="checkbox"/> 研究歴 <input type="checkbox"/> 学会・論文等の受賞・発表歴
●上記で選んだ項目について、学業・成績に関わる最近の取組みや成果などを、具体的な数値や評価などを使って、記載(アピール)してください。
●参加する留学プログラムに関連する内容を記載(アピール)してください。
●記入例を参考に、今後の予定(TOEICを受ける予定など)や目標のみにならないように注意して記入してください。
学業・成績について、プログラムとの関連が明確にわかるように、できるだけ具体的に記載してください。
(記載内容例)
・本プログラムのテーマである〇〇分野において、成績が前期は〇.×であったが、後期は〇.〇に伸びている。
・派遣予定国での使用言語である〇〇語の能力について、前年は〇〇語能力検定で×級だったが、今年は口級に合格した。
・本プログラムのインターンシップ先である△△に関する論文を発表し、高い評価を得ている。
2. 留学を志望した理由と、このプログラムで達成したい具体的な目標
プログラムとの関連が明確にわかるように、かつ留学への熱意が十分に伝わるように、具体的に記入してください。
・留学志望理由
・このプログラムに参加することで達成したい具体的な目標

学生署名欄 (自筆のみ)	機構太郎
-----------------	------

※ご記入いただいた情報は、日本学生支援機構または日本国政府が行う留学生支援のために必要な業務に利用されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、必要に応じ、適正な範囲内においてこの情報が提供されます。



**平成28年度海外留学支援制度(協定派遣) 成績評価係数確認書**

**派**

大学等名		プログラムの責任者・代表者氏名	
プログラム番号		プログラム名	

様式M  
(学校保管)

当プログラムにおける平成28年度海外留学支援制度(協定派遣)の提出対象者について、「事務手続きの手引き」に記載されている算定方法に則り、下表のとおり成績評価係数を判定いたしました。  
全ての対象者が、「事務手続きの手引き」に記載されている成績評価係数の要件を満たす者であることを本学において確認いたしました。

- ※1 氏名欄は、「登録データ」の氏名と一致させてください。
- ※2 全ての登録者について、A欄又はB欄のどちらかを、必ず記載してください。
- ※3 短期研修・研究型で成績評価係数2.00相当以上2.30相当未満の場合は、在籍大学等において対象者の自己推薦書(様式L-2)を保管し、2.30相当以上と認める判断事由を記入した「推薦書」(様式L)を作成し、機構に提出してください。  
自己推薦書(様式L-2)は、採用年度の翌年度4月1日から5年間、在籍大学等において適切に保管してください。
- ※4 本様式は、採用年度の翌年度4月1日から5年間、在籍大学等において適切に保管してください。

	氏 名				A:成績評価係数で表せる者	B:成績評価係数で表せない者			C:「自己推薦書」(様式L-2) [提出者の自己推薦書No.記入] (※3)	備考
	姓 (漢字)	名 (漢字)	姓 (フリガナ)	名 (フリガナ)	成績評価係数	成績評価係数で表せない理由	相当すると評価される成績評価係数	左記係数を判断した派遣学生の学業成績		
例	日本	学生	ニホン	ガクセイ	2.5					
例	支援	機構	シエン	キコウ		修士1年次のため	2.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部最終年次の成績評価係数2.6</li> <li>・入試成績○人中○位</li> </ul>		

\*行を追加して使用してください。  
\*全ての文字が表示されるように行の高さを調整してください。